

平成 25 年 2 月 19 日
(社)日本衛生材料工業連合会
全国マスク工業会

PM2.5 対策と家庭用マスクについて

中国の大気汚染に関連して、PM2.5 対策への関心が高まり、日本国内においても健康への影響が不安視されるようになっております。環境省においても、PM2.5 飛来の健康に対する影響を検討する専門家会議を立ち上げました。また家庭用マスクの PM2.5 対策としての有用性について当工業会へのお問い合わせが増加しています。

家庭用マスクは、風邪・ウイルス飛沫対策、花粉対策、塵、ほこり対策、防寒などの使用を目的としており、空気中に浮遊する $2.5\mu\text{m}$ 以下といった微小粒子の吸入を防ぐことを目的にはつくられていません。

風邪、ウイルス飛沫対策の家庭用マスクには、 $2.5\mu\text{m}$ 以下の微小粒子をカットする性能のフィルターを採用しているものもありますが、マスクの構造上、必ずしも、顔と完全に密着するものではなく、着用時の性能を保証するものではありません。

家庭用マスクの使用にあたっては、なるべく顔との隙間ができないよう自分の顔に合った形状、サイズのマスクを選び、正しく装着していただければ、微小粒子の吸入量をある程度減らすことが期待できます。

以上をご理解の上、家庭用マスクをご活用ください。

以 上